

仙台市自動車運送事業経営改善計画

令和元年度実施結果・評価

目 次

1 お客様サービスの向上

(1) 便利で利用しやすいサービスの提供

- ① 定時性の向上に向けたダイヤの編成（輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ② 地下鉄等との連携強化によるサービスの向上（輸送課）・・・・・・・・ 2
- ③ ホームページなどを活用した「知りたい」に応える情報提供の充実
（経営企画課・業務課・輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ④ バス待ち環境の向上（輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

(2) 安全・快適なサービスの提供

- ① 運転技術の向上と安全運行の徹底（業務課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ② 接客教育の充実による接客サービスの向上（業務課）・・・・・・・・ 6
- ③ 人とまちに優しいバス車両の導入（整備課）・・・・・・・・・・・・ 7
- ④ 災害対応訓練の実施（業務課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

2 安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築

(1) 増客・増収に向けた取り組み

- ① 市バスの利用促進に向けた取り組み（経営企画課）・・・・・・・・ 9
- ② 新たな需要の捕捉と取り込み（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 10
- ③ 運賃制度及び運賃水準の検討（経営企画課）・・・・・・・・・・・・ 11
- ④ 広告料収入の確保（経営企画課）・・・・・・・・・・・・ 12
- ⑤ 親しみの持てる市営バスへの取り組み（経営企画課）・・・・ 13
- ⑥ 資産の有効活用（業務課・財務課）・・・・・・・・・・・・ 14

(2) 効率的経営に向けた取り組み

- ① 人件費の抑制に向けた取り組み（総務課）・・・・・・・・・・・・ 15
- ② 管理の委託の継続的な活用（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 16
- ③ 利用状況に応じた運行の効率化（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 17
- ④ バス車両にかかる投資額抑制（整備課）・・・・・・・・・・・・ 18
- ⑤ 施設の効率的な管理・更新（財務課・業務課）・・・・・・・・・・・・ 19
- ⑥ 燃料費・光熱水費の節減（財務課・業務課）・・・・・・・・・・・・ 20

(3) 組織の活性化に向けた取り組み

- ① 乗務員の安定的な確保と育成（総務課・業務課）・・・・・・・・ 22
- ② 業務への意欲を高める取り組み（総務課・業務課）・・・・ 23
- ③ 職員の意識の向上と働きやすい環境づくり（業務課）・・・・ 24

個別計画概要

番号	1-(1)-①
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	定時性の向上に向けたダイヤの編成

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	道路渋滞などの走行環境を考慮したダイヤ編成によって各バス停の時刻表と実際の運行におけるバス停通過時刻の差を解消し、バスの定時性を高めることでバスの利便性向上を目指す。
内容	・運行区間ごとに状況を把握・分析し、道路渋滞などの走行環境を考慮した適切なダイヤ編成を実施する。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・平成31年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況や遅延状況を確認し、時刻表の見直しが必要となる停留所では、次回のダイヤ改正時で実態に合わせて見直しを行い、定時性の向上を図る。
事業実績	・平成31年4月ダイヤ改正後、「終点におけるバス停通過時刻の遅れ10分以上」の割合：令和元年度16.9%、平成30年度14.8%、平成29年度15.8%、平成28年度21.7%。 ・平成31年4月ダイヤ改正後、「終点におけるバス停通過時刻の遅れ5分未満」の割合：令和元年度41.2%、平成30年度44.2%、平成29年度44.7%、平成28年度38.7%。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(1)-②
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	地下鉄等との連携強化によるサービスの向上

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	バス、地下鉄等とを乗り継いで利用しやすいダイヤ設定に取り組むことにより、市バスと地下鉄とを組み合わせた移動の利便性向上を目指す。
内容	・バスと地下鉄・JR線との乗り継ぎを考慮したダイヤを設定する。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・地下鉄・JR線の駅を運行するバス路線について、平成31年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況等を確認し、バスから地下鉄等、地下鉄等からバスにより乗継しやすい時刻設定に努める。
事業実績	・地下鉄とJRの時刻に合わせたバスのダイヤ改正を実施し、より乗り継ぎしやすい時刻設定を行った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(1)-③
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	ホームページなどを活用した「知りたい」に応える情報提供の充実

担当課係

経営企画課	企画係・営業推進係
業務課	庶務係
輸送課	管理係

目的・必要性	インターネット等を活用した分かりやすい情報提供に努めることにより、バス・地下鉄に関する様々な情報を手軽に入手できる便利なサービスの充実を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交通局のホームページや配付物などを通じ、市営バスの運行情報や運賃のご案内に加え、各種イベント情報など、様々な情報をお知らせする。 ・「どこバス仙台」及び「せんだい市バス・地下鉄ナビ」をそれぞれインターネット上で運用する。 ・ホームページ等の多言語表記を充実させる。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「どこバス仙台」の運用により、バスの接近状況や混雑状況等をリアルタイムに提供する。 ・「せんだい市バス・地下鉄ナビ」の運用により、市営バスや地下鉄での移動に係る経路・運賃・時刻表等の情報を提供するとともに、システム改修を行いさらなる検索機能の充実を図る。 ・市営バスの運行情報等のオープンデータ化を進め、民間活力を利用しながら、さらなる検索機能の充実を図る。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「どこバス仙台」「せんだい市バス地下鉄ナビ」をHTTPS化し、セキュリティの向上を図った。また、利便性向上のため、「どこバス仙台」は現在地を利用した停留所検索を可能にし、「せんだい市バス地下鉄ナビ」は検索履歴からの再検索を可能にした。 ・市営バスの運行情報のオープンデータ化に向けて、GTFS-JP形式により静的な運行情報(停留所、ダイヤ、運賃等)のデータ作成を行った。 ・Twitterを運用し、運行情報やイベント情報等の配信を行った。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(1)-④
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	バス待ち環境の向上

担当課係

輸送課	管理係
-----	-----

目的・必要性	バス停留所の上屋の設置・修繕や掲示物の工夫などにより、お客様が安心かつ快適にバスを待つことができる環境整備を進め、バスの利便性向上を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停留所上屋の設置・修繕や、電照式バス停留所等の着実な整備を進める。 ・時刻表の文字を大きくするなど、停留所掲示物の表示方法の工夫を行う。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・傷みがひどいバス停留所の上屋の修繕補強、塗装工事等を行い、バス待ち環境の向上を図る。 ・広告付上屋を含むバス停留所上屋の設置や、LED電照式標識の設置により、快適なバス待ち環境の整備を進める。 ・計画数：上屋修繕7箇所、上屋設置6箇所、電照式停留所標識設置3箇所
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上屋修繕(7棟)／若林小学校前(上)、西勝山、日赤病院前①、今市橋(上)、高野原2丁目(上)、高野原3丁目(上)、高野原4丁目(上) ・上屋設置(3棟)／鉤取寺(新設)、明成高校前①(更新)、貝ヶ森3丁目(更新) ・電照式標識(3基)／仙台駅前×3
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(2)-①
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	運転技術の向上と安全運行の徹底

担当課係

業務課

指導係

目的・必要性	安全運行の徹底と、事故を抑止することにより、お客様に安全で快適な運行を提供し、バス事業に対する更なる信頼確保を目指す。
内容	乗務員研修では、乗務員の心理状態をコントロールする内容や、実技やグループ討議を取り入れた研修を実施することによって、事故件数の削減と運転技術と安全意識の向上を図る。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・有責事故抑止目標件数 77件 ・10万kmあたりの有責事故抑止目標 0.49件 <p>平成23年度～28年度の10万キロあたりの有責事故件数の平均値(0.52)を29年度の目標とし、以後、新経営改善計画期間中、毎年2.5%減少させ、最終年度となる令和3年度には10%減となるよう設定した。</p>
事業実績	<p>【有責事故抑止目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有責事故抑止目標77件に対し、106件(平成30年度99件) ・10万Kmあたりの有責事故抑止目標0.49件に対し、0.63件(平成30年度0.59件) <p>【研修実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故削減プロジェクト研修 72名 / るーぷる仙台兼任乗務員研修 10名 / 正職員採用時研修 8名 / 再任用職員研修 20名 ／ クレフィール湖東交通安全研修 3名 / 乗務経験1年未満乗務員研修 35名 / 乗務経験3年未満乗務員研修 25名 ／ 新人乗務員のフォローアップ研修 7期生 2名 8期生 8名 / 新任運行管理者研修 6名
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	有責事故抑止目標を達成できなかった。引き続き各種研修を実施するとともに、事故惹起者に対してはドライブレコーダー映像を活用した個人研修を行い、安全意識の向上と再発防止に努めている。

個別計画概要

番号	1-(2)-②
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	接客教育の充実による接客サービスの向上

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	お客様に安心して快適に市バスをご利用いただけるようなお客様サービスを提供し、バス事業に対する更なる信頼確保を目指す。
内容	乗合バス事業が接客業であることを意識付け、お客様の立場に立った接客や案内の重要性を乗務員に身につけることができるような研修を実施し、市バスモニター制度の平均評価の向上及び年間苦情件数の減少を図る。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市バスモニター平均点 35.1点 平成29年度の目標値(32.6点)の10%増を目指すことを目標に掲げて各年度取り組むこととしたことから、30年度の目標値は33.4点と設定した。31年度については、30年12月時点で30年度の目標値33.4点を上回る平均値となっていることを踏まえ、次年度以降の目標値を1年ずつ前倒しすることとした。 ・年間苦情総件数 61件以内 平成29年度の数値目標を定めた後、33年度まで、各年度2.5%減とし、計画最終年度までに10%削減を目指す数値目標を設定した。
事業実績	<p>【市バスモニター制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バスモニター平均点目標35.1点に対し、全体35.2点、直営 36.0点、委託 34.4点で全体では目標達成 <p>【苦情・賞揚件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間苦情件数目標61件数以内に対し、29件(平成30年度比 25件減)で目標達成 ・年間賞揚件数 176件(平成30年度比 25件増) <p>【指導・研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員添乗総件数 885件(業務課職員 575件、営業所職員 310件) ・接客サービス向上(CS)研修 68名受講
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(2)-③
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	人とまちに優しいバス車両の導入

担当課係

整備課	管理係
-----	-----

目的・必要性	高齢者や障害のある方でも乗り降りの負担が少ない、かつ、排出ガスによる環境負荷の少ないバス車両の導入により、人にもまちにも優しいバスサービスの提供を目指す。
内容	・障害のある方も乗り降りしやすい、国の最新の自動車排出ガス規制に適合したアイドリングストップ装置付きノンステップバスを計画的に導入する。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・低公害バス車両について、アイドリングストップ装置付きバスを25両導入する。 ※低公害バス＝アイドリングストップ装置付きディーゼルバス、ハイブリッドバス、CNGバス ・低床バス車両について、ノンステップバスを25両導入する。 ※低床バス＝ノンステップバス、ワンステップバス
事業実績	・低公害・低床バス車両は新車25両を導入し、在籍車両に占める低公害バス比率を94.6%、低床バス比率を82.5%とした。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	1-(2)-④
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	災害対応訓練の実施

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	災害が発生したときに、お客様と自らの安全を守るための適切な対応を行えるよう、災害対応訓練を実施する。
内容	・集団対応訓練を2年に1回実施するほか、毎年、災害発生を想定した大規模な情報伝達訓練を実施する。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所独自の災害対応訓練を実施する。 ・隔年実施している事故・災害・事件等対応訓練を令和元年度は実施する。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所独自の災害対応訓練(非常用発電機の作動訓練、災害支援バイクの点検)を毎月随時実施した。 ・春と秋の全国火災予防運動の実施 延べ70名参加 ・12/3 仙台泉消防署と合同で、バスと一般車の交通事故を想定し、乗客の避難や、重大事故における対応などの集団災害対応訓練の実施 約100名参加 ・3/24 地下鉄南北線において人身事故が発生したことを想定した伝達訓練の実施 ・机上によるバスジャック対応訓練の実施を予定していたが、台風19号、新型コロナウイルス感染症等の影響により、令和2年度に実施することとなった。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	市バスの利用促進に向けた取り組み

担当課係

経営企画課

企画係

目的・必要性	バスの利用促進に向けた様々な取り組みを、関係部局とも協力しながら進めることにより、増客及び増収を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が実施する、公共交通利用促進に向けた取り組みである「せんだいスマート」との連携・協力や、交通局独自の取り組みである「学都仙台市バス・地下鉄フリーパス」の一括販売などを積極的に展開する。 ・交通局内のプロジェクトチームを中心に利用促進策を検討し、交通局を挙げて増客に取り組んでいく。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協力しながら、モビリティマネジメントを積極的に展開する。 ・「学都仙台フリーパスアンケートキャンペーン」を通じて、お客様のニーズを把握し、より良いサービス提供に向けた検討を行う。 ・定期券発売窓口の混雑緩和策の検討・実施。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月に、「学都仙台フリーパスアンケートキャンペーン」を通じて販売促進を行うとともに、お客様ニーズを把握し、より良いサービス提供に向け検討を行った。 ・令和元年7月に、大学オープンキャンパスにおいて、関係機関と協力しながらパンフレット配布を実施した。 ・令和2年1月に、無料一日乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配布し、卒業を機に進学・就職等で行動範囲が大きく広がる中学3年生を対象に利用促進を図った。 ・年度始めの定期券発売窓口の混雑緩和を図るため、①窓口混雑情報の提供 ②学生・生徒に対する定期券の早期購入勧奨③インターネットでのフリーパス事前申込受付など、各種施策を実施した。 ・交通局の広報紙である市バス・地下鉄かわらばん「のるっちゃ」をバス車内等で配布した(4回発行 1回あたり15,000部)。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	新たな需要の捕捉と取り込み

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	需要を捉えた運行経路等の設定について検討し、事業の採算性向上を目指す。
内容	・大規模集客施設の新設などにより生じる新たな需要を捉え、これを取り込むことで事業の採算性向上が期待できるバス路線の設定について検討を実施する。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・大規模集客施設の新設等、大きな新たな需要が見込める機会の情報収集を行い、機会が生じた場合は、採算性を踏まえて新たなバス路線の設定について検討する。
事業実績	・大規模集客施設の新設案件は無かったが、既存施設が運行にかかる費用を負担する前提で定時路線の検討を行った。(1件)
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	運賃制度及び運賃水準の検討

担当課係

経営企画課

企画係

目的・必要性	運賃制度・運賃水準の見直しにより、収益性、採算性の改善を目指す。
内容	・収支の状況を踏まえながら、運賃制度や運賃水準のあり方について検討し、その見直しを進める。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・収支の状況を分析し、運賃制度や運賃水準のあり方について検討を行う。 ・令和元年10月消費税改定に伴う運賃改定に向けた対応を着実に進行。
事業実績	・令和元年10月1日に消費税率引き上げに伴う市バス・地下鉄の運賃改定を実施した。改定においては、丁寧な説明と周知広報に取り組んだ。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-④
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	広告料収入の確保

担当課係

経営企画課

営業推進係

目的・必要性	広告料収入の確保に向けた取り組みを進め、収益性の改善を目指す。
内容	・広告媒体の販売方法の工夫や認知度を高めるための取り組みなどにより、引き続き着実な広告料収入の確保に努める。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・広告料収入について、令和元年度予算に掲げた171,493千円の達成を目指す。
事業実績	・広告料実績160,742千円であり、目標達成には至らなかったが、対前年ではプラスとなった(平成30年度 159,252千円)。 決算額内訳 割当広告:88,287千円、申込広告:72,455千円(うちボディ広告71,459千円) ・3月末時点ボディ広告バス台数80台(前年差+4台) ・上半期に東北各県226自治体や首都圏主要大学145校への広告案内を発送し、下半期に各方面より広告の申し込みをいただいた。
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	自動車広告については新規媒体の開発等が難しく、広告料実績が取り組み目標を下回った。利用可能な車両を積極的にボディ広告バスとして販売するなどして広告料の増加に努めている。

個別計画概要

番号	2-(1)-⑤
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	親しみの持てる市営バスへの取り組み

担当課係

経営企画課	営業推進係
-------	-------

目的・必要性	オリジナルグッズの作成・販売や大規模イベント等のタイアップなどを行うことにより、市営バスのイメージアップを図り、利用促進を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルグッズの作成、販売を実施する。 ・営業所等の施設を見学する「バス・地下鉄親子探検ツアー」を開催する。 ・大規模集客イベント等とのタイアップを行う。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回バス・ちか祭りの開催。 ・宮城バスまつりへの参加。 ・市バスオリジナルグッズの作製・販売等。 ・大規模集客イベント等とのタイアップ。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城バスまつりや交通フェスタへ参加し、グッズ販売等を実施した。 ・10月13日に開催を予定していた第3回バス・ちか祭りは、台風の影響で中止となった。 ・市バスオリジナルグッズ(トミカ)の作製を行った。 ・夏休みわくわくスタンプラリー&1ねんせい・はじめてきっぷや親子探検ツアー(バス・地下鉄)を実施した。 ・プロスポーツチーム(楽天イーグルス、ベガルタ仙台)や情報誌(S-style等)と引き続きタイアップを行った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(1)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	資産の有効活用

担当課係

業務課	庶務係
財務課	会計係

目的・必要性	バス事業資産の有効活用などを進め、さらなる収入の確保を目指す。
内容	・遊休不動産の貸付などの新たな有効活用策について検討を行う。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・バス営業所及び木町通・新寺駐車場などバス事業資産の有効活用を継続的に進めるとともに、その他のバス事業資産や遊休不動産の新たな有効活用策についても検討を行い可能なものから実施する。
事業実績	・木町通・新寺駐車場のバス駐車用区画について、当初予定していたバス13台分の区画に加え、新規でバス1台分の区画の有償貸付を開始した。 ・岡田出張所跡地の一部についても工事現場事務用地として貸付を行った。 ・前年度に引き続き、バス営業所等の敷地を自動販売機の設置場所として有償貸付した。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	人件費の抑制に向けた取り組み

担当課係

総務課	人事係 労務係
-----	------------

目的・必要性	今後10年間で現在在籍している正職員乗務員の8割近くが定年退職する状況を踏まえつつ、バスの運行に要する費用のうち大きな割合を占める人件費を抑制することにより、事業経営のさらなる効率化を図る。
内容	・適正な定員管理、嘱託職員の活用及び効率的なダイヤ編成などにより、人件費の抑制を目指す。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・将来の事業規模等を考慮した必要乗務員数を精査し、適切な採用手法や採用規模により人材を確保する。 ・労働条件の見直しについては検討を進め、可能なものから実施していく。
事業実績	・将来の事業規模等も踏まえた適正な人員体制を考慮しつつ、最低限必要な人員が確保できた。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	管理の委託の継続的な活用

担当課係

輸送課	管理係
-----	-----

目的・必要性	管理の委託の活用により、引き続き運行経費の圧縮を図る。
内容	・引き続き、経費削減に資する管理の委託の活用を図っていく。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・現在の委託規模(概ね事業量の2分の1)を維持しながら、将来の収支改善に資する管理の委託のあり方を検討する。 ・今年度期限を迎える東仙台営業所の管理委託について、次年度以降の委託先の選定を行う。
事業実績	・東仙台営業所の委託契約を更新した。(令和2年度～令和6年度)
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	利用状況に応じた運行の効率化

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	路線バスの系統・区間の利用状況を詳細に分析し、減便等を行うことにより、運行の効率化を図り、持続可能な経営体質の構築を目指す。
内容	・利用状況の詳細な分析を行い、減便等によって運行の効率性向上を目指す。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・バス事業の効率性・採算性を改善するため、現行ダイヤの利用状況の詳細な分析を行い、次回ダイヤ改正において減便等による運行サービスの効率化を図る。
事業実績	・令和2年4月のダイヤ改正において、収支改善に向け、需要動向(乗客数)に応じて事業量2.5%に相当する減便を行った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-④
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	バス車両にかかる投資額抑制

担当課係

整備課	管理係
-----	-----

目的・必要性	バス車両に係る投資額を抑制することにより、事業運営経費の圧縮を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 中古バス車両の活用により、必要車両数の確保に努めながら投資額の抑制を図る。 保有車両全般にわたる状態調査を実施し、適切な車両の保全により、計画的な車両更新に努める。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 中古バス車両の導入。 車両状態調査の実施。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 中古バス車両について5両(大型1両、小型4両)購入した。 車両状態調査の結果に基づき、フレームの腐食修理など、適切な車両保全を行った。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-⑤
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	施設の効率的な管理・更新

担当課係

財務課	契約管財係
-----	-------

目的・必要性	施設の改修や更新の計画的な実施により、施設の長寿命化を図るとともに、長期的視点から維持管理経費の節減を目指す。
内容	・営業所や出張所及び整備工場の建築物や、その他付帯設備などの施設の状況調査を行い、資金計画も考慮しながら適切な改修・更新計画を策定するとともに、これを着実に実施する。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・改修・更新計画を策定し、この計画に基づき令和2年度工事に向けた準備作業を行う。
事業実績	・自動車運送事業施設改修・更新計画(令和元年度版)の策定を行った。 ・令和2年度より実施する川内営業所・整備工場の施設更新計画事業の基本計画業務等の発注準備作業を行った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	燃料費・光熱水費の節減(本局)

担当課係

財務課	契約管財係
-----	-------

目的・必要性	バスの運行に要する燃料使用量や交通局庁舎・営業所・出張所における光熱水費のさらなる節減を勧めることにより、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料使用量の節減に向けて、引き続きエコドライブに取り組む。 ・交通局庁舎・営業所・出張所において、電気・ガス・水道使用量の節減を図る。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・交通局本局庁舎において、冷暖房機器の適正な運転管理と室温管理を徹底するなど、設備の適切な使用により、平成30年度の使用実績を下回るよう努める。
事業実績	・交通局本局庁舎について、ガス・水道年間使用量は平成30年度の使用実績を下回り目標達成したが、電気年間使用量は平成30年度の使用実績を上回り目標達成できなかった。 (平成30年度比 電気使用量 1.4%増、ガス使用量 2.9%減、水道使用量 3.5%減)
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(2)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	燃料費・光熱水費の節減(営業所・出張所分)

担当課係

業務課	庶務係、指導係
-----	---------

目的・必要性	バスの運行に要する燃料使用量や交通局庁舎・営業所・出張所における光熱水費のさらなる節減を進めることにより、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料使用量の節減に向けて、引き続きエコドライブに取り組む。 ・交通局庁舎・営業所・出張所において、電気・ガス・水道使用量の節減を図る。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・バス営業所の光熱水費について、平成30年度の使用実績を下回るよう努める。 ・エコドライブ強化月間に合わせ「ecoだより」を発行するなど、燃料使用量の節減に関する職員の意識向上を図る。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・バス営業所について、電気、ガス、水道全てにおいて平成30年度の使用実績を下回り目標を達成できた。 (平成30年度比 電気使用量 2.2%減、ガス使用量 18.8%減、水道使用量 13.6%減) ・バスの燃費については前年度と同じ結果となった。 (平成30年度比 ±0.0% ※平成30年度2.35km/平成31年度2.35km) ・エコドライブ強化日(毎月第1水曜日)の点呼時に乗務員にエコドライブの指導を行った。 ・「ecoだより」を予定どおり年2回発行し、燃料使用量の節減に関する職員の意識向上を図った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(3)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	乗務員の安定的な確保と育成

担当課係

総務課 業務課	人事係 指導係
------------	------------

目的・必要性	事業を安定的・継続的に持続させるため、乗務員の安定的な確保と育成、資質向上を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大型自動車二種免許を有していない若年層を採用し、免許を取得させる養成制度を継続する。 ・運転操作や接遇等に関する実践的な研修の実施により、職員の資質向上を図る。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正職員採用選考の実施。 ・嘱託バス運転手採用試験の実施。 ・バス運転手教習生採用試験の実施。 ・職員に対する各種研修の実施。
事業実績	<p>【運転手採用】 生産年齢人口の減少等により、採用環境が厳しくなる中、県外在住者に向けた広報の拡充など、広報媒体の見直しにより、事業量に必要な最低限の人員を確保できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正職員バス運転手 15名採用 ・新規採用嘱託職員(免許あり) 5名採用 ・バス運転教習生(臨時職員/免許なし) 32名採用 <p>【各種研修実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・るーぷる仙台兼任乗務員教習(10名)／実務経験3年未満乗務員研修(35名)／嘱託職員(免許あり/5名)／正職員採用時教習(8名)／新人乗務員のフォローアップ研修(7期生2名 8期生8名)／副所長・運行管理者研修(2回/74名)／再任用職員研修(20名)／新任運行管理者研修(6名)／新規実務指導員研修(13名)／実務経験1年未満乗務員研修(23名)
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(3)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	業務への意欲を高める取り組み

担当課係

総務課 業務課	総務係・人事係 指導係
------------	----------------

目的・必要性	乗務員の意欲や意識を向上させるための様々な取り組みを進め、職員のモチベーションを高め、サービスの質的向上を図る。また、職員への情報伝達を活性化し、風通しの良い職場環境を構築する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善意見提案制度や業務改善に向けたプロジェクトチームなど様々な方法を通して、職員からの意見を事業運営に反映させていく。 ・接客サービスなどで優秀な成績を収めた職員の表彰を実施する。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善意見提案制度を活用し、職員の提案・意見を事業運営に反映させる。 ・業務改善プロジェクトチームを設置し、所属横断的に課題解決を行うことで乗客誘致、安全運行の向上、経費削減等に取り組んでいくとともに職員の業務に対する意欲向上を図る。 ・局報「りょうりん」の内容を充実させるとともに、発行回数を増やすことにより、職員への情報伝達の活性化を図る。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年間接遇優秀職員表彰(管理者表彰)12名 ・平成31年1月～令和元年12月期職員市バスモニター表彰(自動車部長表彰)延べ177名 ・業務改善意見提案件数 計35件(優秀賞2件、努力賞15件、提案活動賞1件) ・業務改善プロジェクト総務部会 計6回開催 ・業務改善プロジェクト自動車部会 計8回開催 ・局報「りょうりん」 計10回発行(前年比5回増)
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

個別計画概要

番号	2-(3)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	職員の意識の向上と働きやすい環境づくり

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	職員の意識の向上と働きやすい環境づくりに向けた取り組みを進めることにより、一人ひとりが心身ともに充実した状態で働けるような環境づくりを目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所と管理部門の職員との意見交換会を実施する。 ・安全確保や健康管理等について、日頃から情報交換がしやすい職場環境づくりを進める。 ・コンプライアンス遵守に向けた職場内研修を実施していく。

令和元年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業管理者等と乗務員との意見交換会の実施(各営業所1回)。 ・安全統括管理者等と乗務員との意見交換会の実施(各営業所1回)。 ・営業所長等と乗務員との意見交換会(職場研修会月1回程度開催)。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・7月11日・7月24日・7月29日 事業管理者・安全統括管理者と乗務員との意見交換会を実施(各営業所1回)、延べ53名参加 ・11月22日・12月2日・12月5日 安全統括管理者・各課長と乗務員との意見交換会を実施(各営業所1回)、延べ35名参加 ・営業所長及び主幹と乗務員との意見交換会を実施(職場研修会・毎月1回・計12回)、延べ913名参加 ・4月12日・7月22日 るーぷる仙台乗務員との意見交換会を実施(計2回)、延べ16名参加 ・乗務員を対象とした事故削減プロジェクト研修における、安全統括管理者との意見交換会を実施(事故削減プロジェクト研修・意見交換会 各6回)、延べ72名参加
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	